

広報紙に見る顕彰活動の足跡

文・顕彰会事業委員 根岸 久

平成十八年一月十日、旧本庄市と旧児玉町が合併して新「本庄市」が誕生していますが、昭和三十年三月にも児玉町と金屋村、本泉村、秋平村の一町三ヶ村の合併が行われ、新「児玉町」が誕生し、昭和三十二年六月一日に「広報こだま」の第一号が発行されました。昭和三十年代の広報こだまに見る、総検校塙保己一先生遺徳顕彰活動の足跡をたどってみます。

広報こだま第一号には、新町初代の筑紫権四郎町長も所信表明で、「一万六千余人の一人一人が塙保己一先生誕生のこの児玉町に住むことに無限の誇りがもてる明るい楽しい街の建設こそ、私の念願でありアイデアです。」と語っています。この年は塙保己一先生没後の一三五周年の節目の年でもありました。同号の塙顕彰趣意の記事には「世界の人々から盲聖と称えられる塙保己一先生の御偉徳をあきらかにすべき時は正に今である」と念ずるのがあります。(中略) その堅忍不拔の志の前に唯々深い敬意を感じ奮奮奮起しないわけにはいかないのです。あります。(中略) ここに先生の遺徳顕彰会(※現在の顕彰会とは別組織)を設立し、塙精神の発揚をはかるため、遺品を収集して保存の措置を講ずると共に、その教訓を現代に生かして青少年の教育の向上を

はかり、あわせて全国百万余の身体障害者に対しても援護の手をさしのべ、もつて国家、福祉日本の建設に寄与しようとするものであります。」とあります。

また、十一月一日発行の第三号には、村田勇氏(元児玉町議会議長)の後日談として、「昭和三十一年五月五日、大沢雄一埼玉県知事をはじめ県下名士多数の列席を得て、埼玉県議事堂に於いて、総検校塙保己一先生遺徳顕彰会発会式を盛大に挙行して以来ここに一年有半(後略)、(昭和三十一年)九月十七日、関根久蔵参議院議員の協力を得て、平凡社創立者の下中彌三郎氏に会長決定(折渉三回に及ぶ)とあります。なお、顕彰会は昭和三十一年六月四日附で文部省より財団法人として認可されています。また、八月一日発行の祝合併特集号には、天然色スライド「塙保己一

物語」制作はじまるの記事があり、「財団法人塙顕彰会では、青少年の指導強化と、法人顕彰会の募金の目的を以て『塙保己一物語』のスライドを作成することになり、広く全国一般に公開することになりました。」とあり、完成した塙保己一物語は、九月から町内小中十一校で巡回上映されています。また、「保己一海を渡る」の記事が見られ、「米国ニューヨークに於いて開催される、第六回国際絹大会」に出席のため、参議院議員関根久蔵氏は、十月十五日羽田空港を出発、各国協力者に土産として、この程児玉町で制作した『塙保己一物語』スライド及び英語版テープを持参した。」とありました。さらに、昭和三十三年三月十日発行の第四号には、昭和三十三年児玉十大ニュースに「ドルを稼いだ塙保己一顕彰会」の記事があり、「米国カルホルニア大学より塙保己一顕彰会の趣旨に感動し、『塙保己一物語』スライド二十本送れ代金はすぐ送る(二百ドル)

物語」制作はじまるの記事があり、その発注書が来た。」とありました。また、別の号では『塙保己一物語』のスライドが(国内の)コンクールに於いて最優秀賞を獲得。スライド撮影の協力者は延べ人数一千八百七十三人」という興味深い記事もありました。なお、昭和三十一年に制作された「塙保己一物語」のスライドは、平成八年九月十四日、塙保己一没後の一七五年の記念事業で、四十年ぶりに上映されています。



『塙保己一物語』スライド撮影班集合写真 (写真提供：田島高治氏)

平成27年度顕彰会総会を開催します。

ぜひご参加ください。



昨年の総会の様子

日時 平成27年5月23日(土)
午後1時30分 受付開始
午後2時 開式

会場 セルディ ホール

内容 前年度事業報告・決算報告
今年度事業計画・予算審議

記念講演 斎藤幸一氏(温故学会理事長)

演題 「保己一少年、15歳の旅立ち～
温故学会の塙保己一像と新塙保己一像～」

※ 当日、会場では、塙先生が総検校を拝命するために上京した時の旅の記録『上京日々記』の概要版を配布する予定です(希望される方には本編も配布予定)。ぜひお越しください。

平成二十六年年度顕彰会事業報告



嵐義人教授による記念講演

二十六年年度総会

五月三十一日、児玉文化会館セルディを会場に平成二十六年年度顕彰会総会を開催しました。当日は、会の運営についての審議のほか、銅像建立計画案の審議が行われ、承認されました。

また、顕彰会への寄付に対する感謝状の贈呈のほか、國學院大學教授の嵐義人氏による記念講演も行われました。講師の嵐氏は「塙先生の地元のみなさんの前で講演は感慨ひとしおです」と感激されていました。

顕彰祭

塙先生の命日である九月十二日にセルディで開催された遺徳顕彰祭では参加者全員が塙先生の遺影に菊の花を捧げ先生の遺徳を偲びました。



また、本庄市自治会連合会で行う塙先生勉強会の総仕上げ年度である今年度も講師派遣を行い、二十三年度からの累計で約二千二百人の市民に塙先生の業績を説明しました。

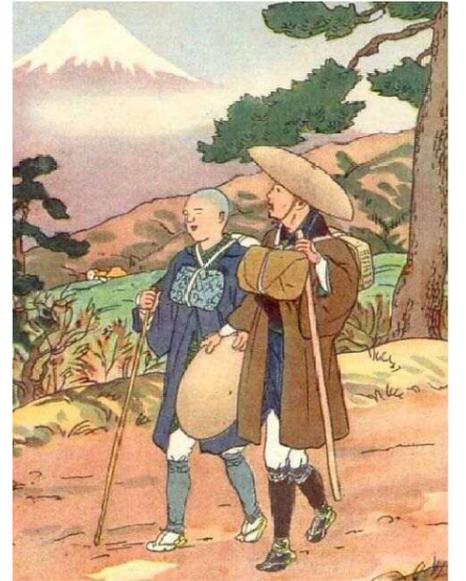
塙保己一賞

十二月二十日、セルディで行われた埼玉県と本庄市共催による塙保己一賞への協力をいたしました。当日は、障害がありながら社会的に顕著な活動をしている人や応援している人・団体など4名が表彰されました。

表彰式後には、盲目のヴァイオリニスト和波たかよしさんと土屋美寧子さんのピアノのデュオ演奏も行われ、来場者は、その優雅な音色に聴き入っていました。



市長から副賞を授与



- ・5月23日開催の平成27年度総会では、いよいよ今年度に建立の予定である銅像にちなみ「保己一少年、15歳の旅立ち～温故学会の塙保己一像と新塙保己一像～」と題して公益社団法人温故学会斎藤幸一理事長にご講演いただきます。
- ・右上：(参考資料) 温故学会所蔵の塙保己一先生旅姿の図
- ・右下：(参考資料) 温故学会にある塙保己一先生の銅像(座像)

= 来年の塙先生没後 195 周年にむけて(塙保己一少年「旅立ちの朝」銅像建立)=
ごあいさつ

五月の陽光うらかな日とのなか、会員のみなさまにはご健勝のこととご推察申し上げます。みなさまには日頃、総検校塙保己一先生の遺徳顕彰にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、来年の平成28年は塙先生没後195周年となります。この節目の年にむけて顕彰会では、上越新幹線本庄早稲田駅前に銅像建立を計画し、準備を行ってまいりました。そして、今年はいよいよ銅像の制作に取り掛かり、来年3月の完成を目指す予定となっております。会員のみなさま方には、ぜひご期待ください。また、このたびの銅像建立にちなみ、5月23日に開催の平成27年度総会では、「保己一少年、15歳の旅立ち～温故学会の塙保己一像と新塙保己一像～」と題して公益社団法人温故学会理事長の斎藤幸一氏にご講演いただきます。大勢のみなさまのご参加をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会長 吉田信解

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

元治元年(一八六四) 領主 永島直之丞からの郷士申渡覚

文・顕彰会事業委員 荒井一夫



郷里の父宇兵衛は、寛政七年(一七九五)、保己一が五十歳のときに亡くなりました。家督は保己一の弟にあたる卯右衛門が継ぎましたが、その子の娘婿である弥七のとき(塙家では三代目、忠韶の代)に塙家と荻野家の振り合い(身分のつりあい)を持たせるような処遇で、地頭から弥七宛てに届いた苗字・帯刀を許すとの申渡し状であります。

(上写真の文言)

申渡之覚 武州児玉郡保木野村 百姓 弥七 其方家之儀者、古来より郷士二而有之候処、中興 流落二及候得共、惣検校保木一者其家二而出生、 追々昇進子孫御旗本二被成候二付公辺向御差出之 家譜二者、古来之格を以郷士之趣書上被置候、 就而者其方家之儀、苗字帯刀之家格与可心得候、 此段申渡者也

元治元年十二月 地頭所内 松田巨

右 保木野村 弥七江

前書之通相違無之候以上

永直之丞

(文言の内容)

弥七の家は古来より「郷士」(武士の待遇をうけた農民)の家でしたが、その後家が衰微していました。しかしながら、総検校塙保己一が出た家であり、さらに保己一の子孫が昇進して旗本に成ったので、公式に提出する家譜では古来の格に従って「郷士」として書き上げるように、さらに苗字・帯刀の家格であると心得よ、としています。

今年度も塙先生顕彰会の会員として継続してご協力くださいますようお願い申し上げます。

みなさまからの貴重な会費は、没後195周年となる来年に建立(3月予定)の塙先生の銅像の作成費用や塙先生の命日である9月12日に先生の遺影に菊の花を捧げ遺徳をしのぶ顕彰祭のため、また、その他の啓発活動に使用させていただきます。

今年度につきましても会費の納入をお願い申し上げます。

みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



年会費 個人会員 一口 千円、 賛助会員(団体) 一口 一万円
入会と会費納入の受付場所 本庄市生涯学習課(5月まで中央公民館、6月から市役所4階)と本庄市児玉文化会館(セルディ)で受け付けています。5月まで市役所では4階文化財保護課でお預かりいたします。※郵便振替でも申し込みできます(ご希望の際は下記へご連絡ください)。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会
事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内
所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2
電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。